

5 ウォークラリー (WR)

交差点や分岐点だけを記載したコース図をたよりに、8つのチェックポイント (CP) の問題を解きながらコースを周り、グループで得点やタイムを競います。

- ・グループごとに時間差でスタートするので、グループが多ければ、そのぶん時間がかかります。余裕をもって時間設定をしてください。
- ・原則として、グループに時計は持たせません。自分たちの時間感覚で挑戦します。
- ・史跡・文化財の乙宝寺や猿塚の見学および動植物の観察ができ、競技をしながら自然に親しむことができます。

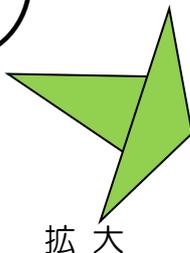


ウォークラリーの
チェックポイント

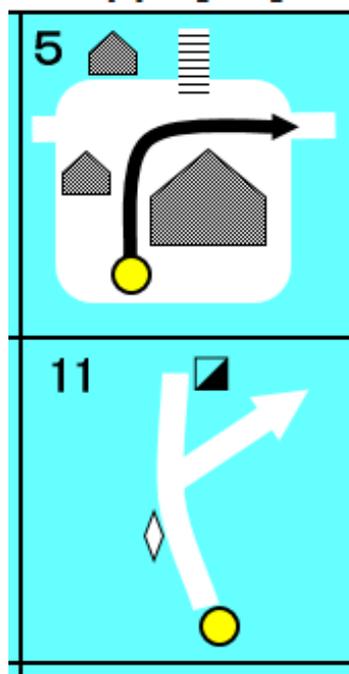
時期	通年(降雪時不可)	所要時間	説明を含めて1時間半～2時間 グループ数が多いときは2時間半	活動場所	自然の家遊歩道
対象	小学校高学年以上	人数	1グループ3人～5人程度	20グループ程度まで	
準備物	自然の家で貸し出すもの			団体・個人で準備するもの	
	<input type="checkbox"/> ウォークラリーコース図 <input type="checkbox"/> チェックカード <input type="checkbox"/> 記録用のバインダー <input type="checkbox"/> ビブス <input type="checkbox"/> CP(チェックポイント)の看板見本 <input type="checkbox"/> 拡大コマ図見本 <input type="checkbox"/> 解答 <input type="checkbox"/> 賞状	多目的 ホール 用具室2		<input type="checkbox"/> 各グループに鉛筆2～3本 <input type="checkbox"/> 雨具 ※天候に応じて <input type="checkbox"/> 賞状記入用のペン	
活動の手順	事前準備	1 引率者の役割分担 ・説明者 ・監視 ・巡視 ・救護 ・計時 ・採点 ・表彰 等 2 グループ編成 グループで役割分担をしてもよい。・班長 ・記録係 ・時計係 ・地図係等 3 用具の準備			
	活動の実際	1 競技の説明 (1) ウォークラリーの楽しさやねらい (2) 競技の方法 ・コース図中の1番のコマ図から順番に読み進んでいく。 ・途中にあるチェックポイント (CP) ではクイズを解いて、チェックカードに答えを記入する。 ・各班、5分おき(または3分おき)にスタートする。 ※ 間隔が短いと、前のグループに追い付いてしまう。 ・55分～65分でゴールする。(徒歩45分程度のコースです) ※ 早すぎても遅すぎても減点となる。 ・得点は、所要時間(得点換算表参照)とチェックポイント (CP) の問題の答えの点数を合計する。 (3) ウォークラリーコース図の読み方 ・CP1やCP2はチェックポイントを示している。 ・それぞれのコマ図にある●印は、自分の位置を示している。 ・それぞれのコマ図にある矢印は、進行方向を表している。 ※基本は白抜ききの道の矢印だが、広場では黒矢印で進み先を示している。 ・それぞれのコマ図に距離は示していない。交差点と地図記号を頼りに、現在位置を確認しながら進む。			

	<p>※全員で遊歩道看板などいくつかの地図記号を確認するとよい。</p> <p>(4) 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この先進めません」の看板があった時は、別な道を探す。 ・道に迷ったら、前のチェックポイント（CP）まで戻ってやり直すとよい。 ※緊急避難用にオリエンテーリングの地図を持たせてもよい。 ・ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。 ※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。 ※実物を見せて確認するとよい。 ・遊歩道の動植物を大切に歩く。 <p>(5) やくそく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずグループで行動する。分かれて行動しないこと。 ・体調を崩した時は本部に戻る。戻れないときは近くにいる引率者に相談する。 ・一般道や乙地区集落には出ない。 <p>2 グループで役割分担をし、チェックカードに必要事項を書く。</p> <p>3 グループで地図記号を確認する。</p> <p>4 ゴールする時刻を確認する。</p> <p>5 引率者が監視箇所につく。</p> <p>6 5分（または3分）おきにスタートする。</p> <p>7 終了後、採点・集計。</p>
事後	<p>1 表彰式</p> <p>2 用具の返却</p>
備考	<p>1 玄関前ポーチ（掲揚塔の前）を本部とし、スタート・ゴールにします。</p> <p>2 1つめのコマ図の所まで全員で行ってみると、理解しやすいでしょう。</p> <p>3 CPの問題は、団体で考えたものを使うのもおもしろいでしょう。</p> <p>4 コース図の見方を事前にしっかりと指導してください。説明が不十分だと、まったく違う方向へ進んでしまい、活動の意欲を低下させる恐れがあります。</p> <p>5 CP 1まで全員で行き、コース図の見方を練習するのもよいでしょう。</p>

コース図の例



拡大



乙宝寺の脇を通り右に曲がり進みます。

ト字路を右に進みます。